

平成 28 年 7 月 1 日

四国地方整備局

将来のストック効果が見える！

～「生産性革命 by インフラ 第4次重点計画」パネル展について～

国土交通省では、将来のインフラ整備によってもたらされる多様なストック効果をわかりやすく伝えるため、インフラのストック効果を紹介するパネル展を実施します。

【「生産性革命 by インフラ 第4次重点計画」パネル展】

日時：平成 28 年 7 月 5 日（火）13 時～7 月 22 日（金）17 時

場所：高松サンポート合同庁舎アイプラザ前廊下（香川県高松市サンポート 3-33）

主要なインフラ整備について、時間軸を明確化し、可能な範囲で完成時期を記載した「四国ブロックにおける社会資本整備重点計画」を本年 3 月に策定しました。

今後、本計画のもと、インフラのストック効果を最大限発揮させるべく、地域の特性に応じ、重点的、効率的に社会資本整備を進めていく必要があります。

また、国土交通省では平成 28 年を「生産性革命元年」とし、生産性の向上、生活の質の向上、安全・安心の確保を目指した戦略的インフラマネジメントを推進しています。

この度、将来のインフラ整備によってもたらされる生産性の向上等の多様なストック効果をわかりやすく伝えるため、パネル展を以下のとおり実施します。

※本施策は、四国圏広域地方計画「No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト」の取組に関連します。

<国土交通省本省でも開催中>

国土交通省本省では、全国 47 都道府県紹介しています。

日時：平成 28 年 7 月 1 日（金）～7 月 15 日（金）

場所：中央合同庁舎 3 号館 1 階展示コーナーほか（東京都千代田区霞が関 2-1-3）

<問い合わせ先>

四国地方整備局 企画部 広域計画課

課長 福田 浩

課長補佐 阿部 福夫

電話 087-811-8309（広域計画課直通）

FAX 087-811-8408

「生産性革命byインフラ 第4次重点計画」 四国地方整備局パネル展一覧

県名	タイトル	内容	主な事業	本省展示
徳島県	安定水供給で世界トップのLED生産拠点を支える!!	長安口ダム改造により治水・利水安全度が向上し、企業進出、定住促進に寄与。	長安口ダム改造事業	○
徳島県	四国の産業を支える物流拠点!	船舶の大型化対応整備やIC直結の高速道路整備により、生産性向上に寄与し、四国の輸送効率を向上する物流拠点を形成。	徳島小松島港沖洲(外)地区複合一貫輸送ターミナル整備事業 四国横断自動車道 阿南四万十線 阿南～徳島JCT	○
徳島県	堤防改良で地震津波による浸水被害から人命及び財産を守る!	堤防周辺を地盤改良工事によって、地震による液状化を防止するとともに、堤防の高上げにより、津波の浸水を防ぎます。	撫養海岸 直轄海岸保全施設整備事業	
香川県	島民の暮らしと観光産業を支える	・高齢者・身体障害者等のフェリー乗降客の利便性を向上させるため、港湾施設整備を実施中。 ・瀬戸内国際芸術祭の期間に訪れる外国人観光客を含む多数の来場者に対する利便性も向上し、地域経済の活性化に寄与	坂手港坂手地区離島フェリーターミナル整備事業	
香川県	活力ある緑の海辺空間	・都市と海を融合させた魅力的な海辺空間としての賑わいを創出するため、高松城趾前に「キャッスルプロムナード」として緑地整備を実施中。 ・クルーズ旅客や瀬戸内国際芸術祭の期間に訪れる外国人観光客を含む多数の来場者に対し「アート県かがわ」をPRすることで、更なる観光客の増加を図る	高松港(玉藻地区)緑地整備事業	
香川県	高松道で「観光かがわ」を推進!!	・高速道路4車線化により休日渋滞を解消することで、県外観光客数980万人を目指す観光戦略を支援	四国横断自動車道 阿南四万十線 鳴門～高松市境	○
愛媛県	南予経済流通文化の拠点へ!	・治水安全度が向上し、浸水リスクが低減。 ・地域医療支援病院の建設やさらなる企業立地が期待。	肱川 直轄河川改修事業	
愛媛県	二次輸送解消でコスト削減! 世界で活躍する企業の産業活動を支える(仮)	・大型船舶の入港が可能となり、二次輸送が解消されることで輸送コストが削減されるなど、立地企業の生産性向上に寄与	松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業	
愛媛県	世界に誇る日本の造船業を支える港湾整備	・西条市の事業(岸壁、泊地整備)と併せて施設を整備することにより、造船業の振興、地域雇用の増大、地域経済の活性化等に寄与	東予港西条地区防波堤整備事業(産業関連事業)	
愛媛県	フェリー輸送を支える港湾整備輸送ルートの多様化により物流生産性向上!	・新たにターミナルを整備し、フェリーの大型化等に対応することで、物流効率化を図り輸送コストを削減	東予港中央地区複合一貫輸送ターミナル整備事業 東九州自動車道	○
高知県	高知の新たな資源を掘り起こせ!!	・消化施設を整備し、下水汚泥の発生量削減。 ・汚泥削減時に生じるバイオガスを利用した発電で、安定した新エネルギーを創出。 ・汚泥由来の肥料を活用し、質の高い農作物等の生産に寄与。	高須浄化センター 汚泥消化施設整備事業	
高知県	シュガートマトなど地域の産業の発展へ!	・放水路の整備による浸水被害の軽減 ・日高村特産トマトを活かした村づくりの推進に寄与	仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(日下川)	○
高知県	物流拠点の整備で地域の活力・防災力向上	・港湾整備により、船舶の大型化に対応したストックヤード不足に対応 ・物流拠点として企業の産業活動を支えるとともに、災害時に耐震強化岸壁等を活用し、緊急物資輸送や地域経済の復旧・復興を可能とする	高知港三里地区国際物流ターミナル整備事業	



長安口ダム改造事業

安定水供給で世界トップのLED生産拠点を支える!!

現在 now



将来 future

インフラ

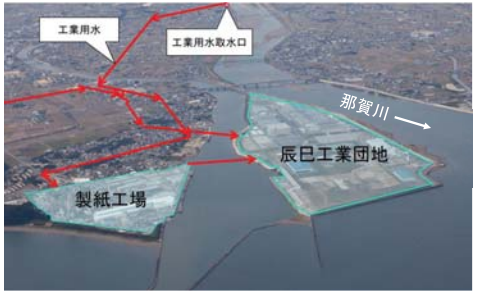


長安口ダム改造及び川口ダム(県)との連携(容量配分の見直し)により
治水・利水安全度が向上



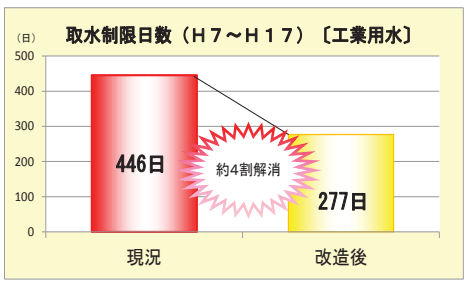
平成30年完成予定

地域



〈立地企業の声〉

生産活動維持には安定した質・量の用水確保が不可欠。安心して事業活動を営むため、一日でも早い改造事業完成を！



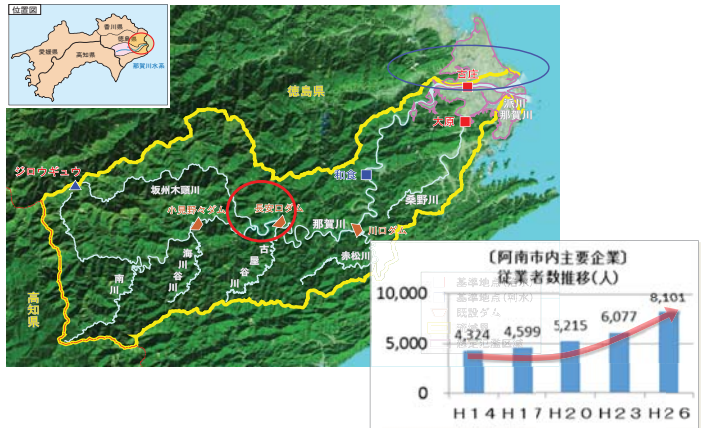
取水制限の改善

那賀川下流域には、**世界シェア1位の高輝度発光ダイオード**(世界シェア20%)、**RO紙**(下水処理等に用いる分離膜支持体紙)などの**生産企業が立地**

工業用水の取水制限による生産規模縮小や操業停止などの**渇水被害が頻発**

(H17年時、取水制限日数113日、工業被害額68.5億円)

長安口ダム改造等により、**企業運営の安定化、更なる企業進出、定住促進**に寄与





四国横断自動車道 阿南四万十線 鳴門～高松市境

高松道で「観光かがわ」を推進！！

現在 now



将来 future

インフラ



休日の渋滞状況

鳴門～高松市境までの
アクセス向上(4車線化)



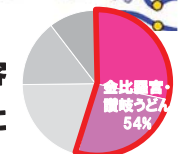
高松自動車道
を4車線化

平成30年度
完成予定

地域



県外から香川県に訪れる観光客
⇒5割以上が県西部を目的地に



来県理由(県外観光客アンケート)

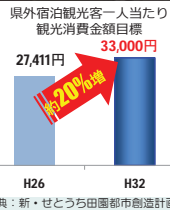


「観光かがわ」を推進し
ており、高松道の4車
線化に大きく期待！
(香川県の声)

県東部にも
観光客の増加が期待



県東部地区観光施設



県外宿泊観光客一人当たり
観光消費金額目標
H26 27,411円
H32 33,000円
↑約20%増
出典：新・せとうち田園都市創造計画

観光5力年計画

高松道の4車線化により休日渋滞を解消し、
周遊観光促進で県外観光客を誘致

「うどん県。それだけじゃない香川県」で県外観光客数
980万人を目指す香川県の観光戦略を支援

MAP





東予港中央地区複合一貫輸送ターミナル整備事業

フェリー輸送を支える港湾整備
輸送ルートが多様化により物流生産性向上！

現在 now >>> 将来 future

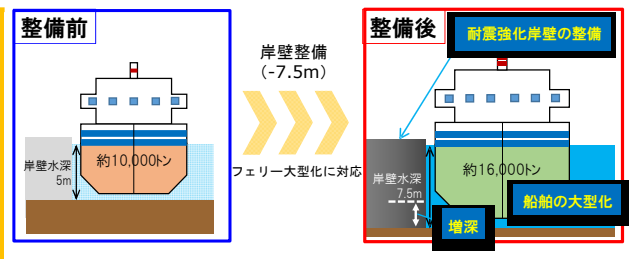
インフラ



平成30年 供用予定

愛媛-大阪を結ぶフェリーが就航している東予港において、フェリーの大型化等に対応した耐震強化岸壁等を整備し、輸送効率化を図るとともに、緊急物資輸送拠点を確保

輸送コスト **13.2億円/年削減**
積載台数 **4割増加** (8tトラック換算)



平成28年4月に東九州自動車道（北九州市～宮崎市）が開通し、陸送及びフェリー輸送を活用した九州-四国-関西を結ぶネットワークが強化され、更なる物流効率化が期待

四国ルート利用のメリット

- フェリー利用により、トラックドライバーの労務管理上のメリットが生じる
- トラック輸送のみの場合より、定時性の確保がしやすくなる

四国ルート利用による車両運転距離の短縮

	運転距離(本州ルート→九州ルート)	
大分-関西	約7割短縮	(750km→200km)
宮崎-関西	約6割短縮	(890km→330km)
鹿児島-関西	約4割短縮	(880km→520km)

※各県庁所在地より吹田ICまで。本州ルートとの比較。





高須浄化センター汚泥消化施設整備事業

高知の新たな資源を掘り起こせ！！

現在 now

将来 future



- 消化施設を整備することで、産業廃棄物である下水汚泥の発生量を減量化→処理コスト減！
- 汚泥削減により発生するバイオガスを利用した発電。安定供給できる新エネルギーの創出。
- 汚泥由来の肥料を活用拡大し、質の高い農作物・農産品の生産に寄与。

